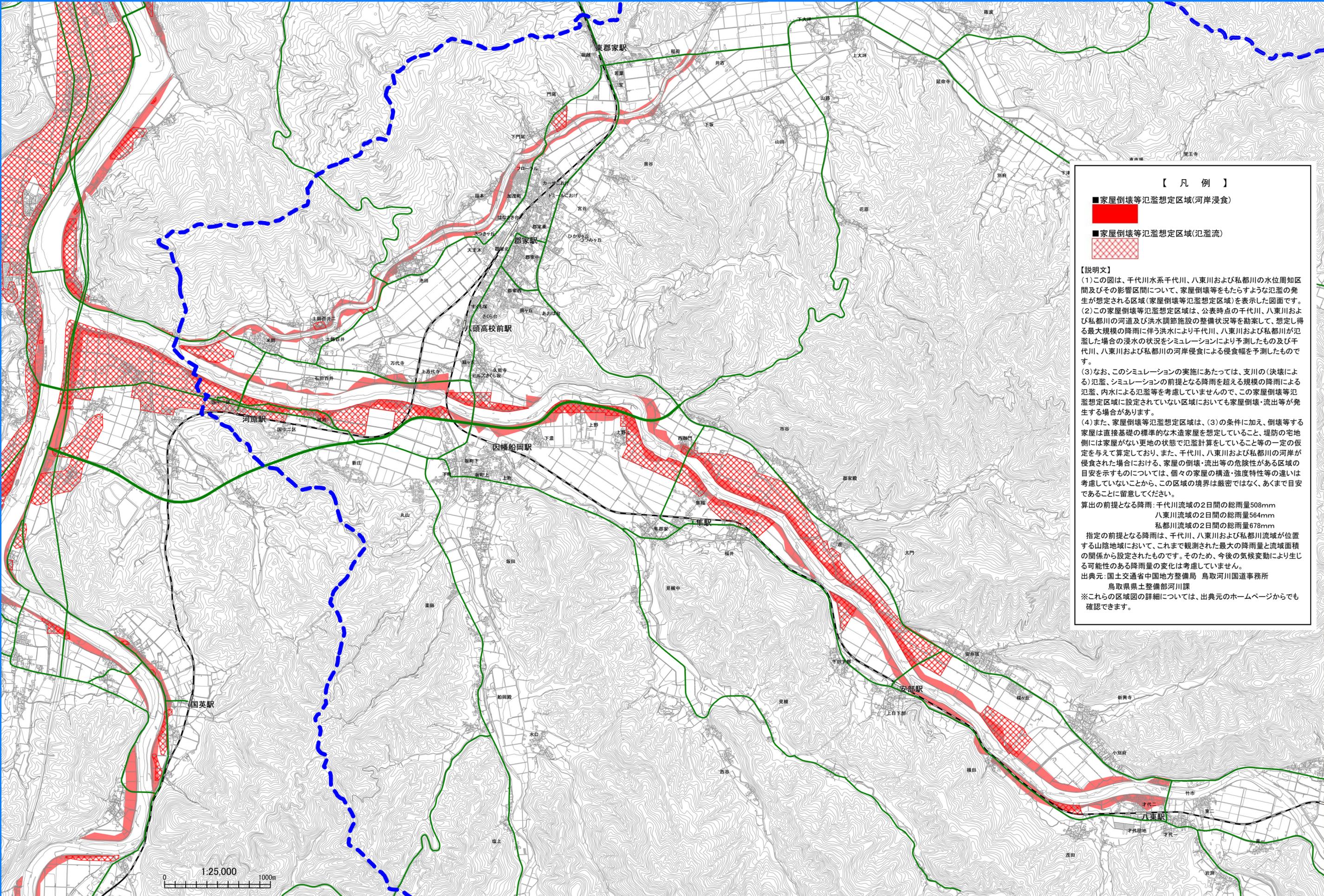


# 千代川水系洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域】



**【 凡 例 】**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

**【説明文】**

(1)この図は、千代川水系千代川、八東川および私都川の水位周知区間及びその影響区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。

(2)この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の千代川、八東川および私都川の河道及び洪水調節施設の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により千代川、八東川および私都川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものと千代川、八東川および私都川の河岸侵食による侵食幅を予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4)また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること等の一定の仮定を与えて算定しており、また、千代川、八東川および私都川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものについては、個々の家屋の構造・強度特性等の違いは考慮していないことから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

算出の前提となる降雨：千代川流域の2日間の総雨量508mm  
 八東川流域の2日間の総雨量564mm  
 私都川流域の2日間の総雨量678mm

指定の前提となる降雨は、千代川、八東川および私都川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。

出典元：国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所  
 鳥取県土木整備部河川課

※これらの区域図の詳細については、出典元のホームページからでも確認できます。